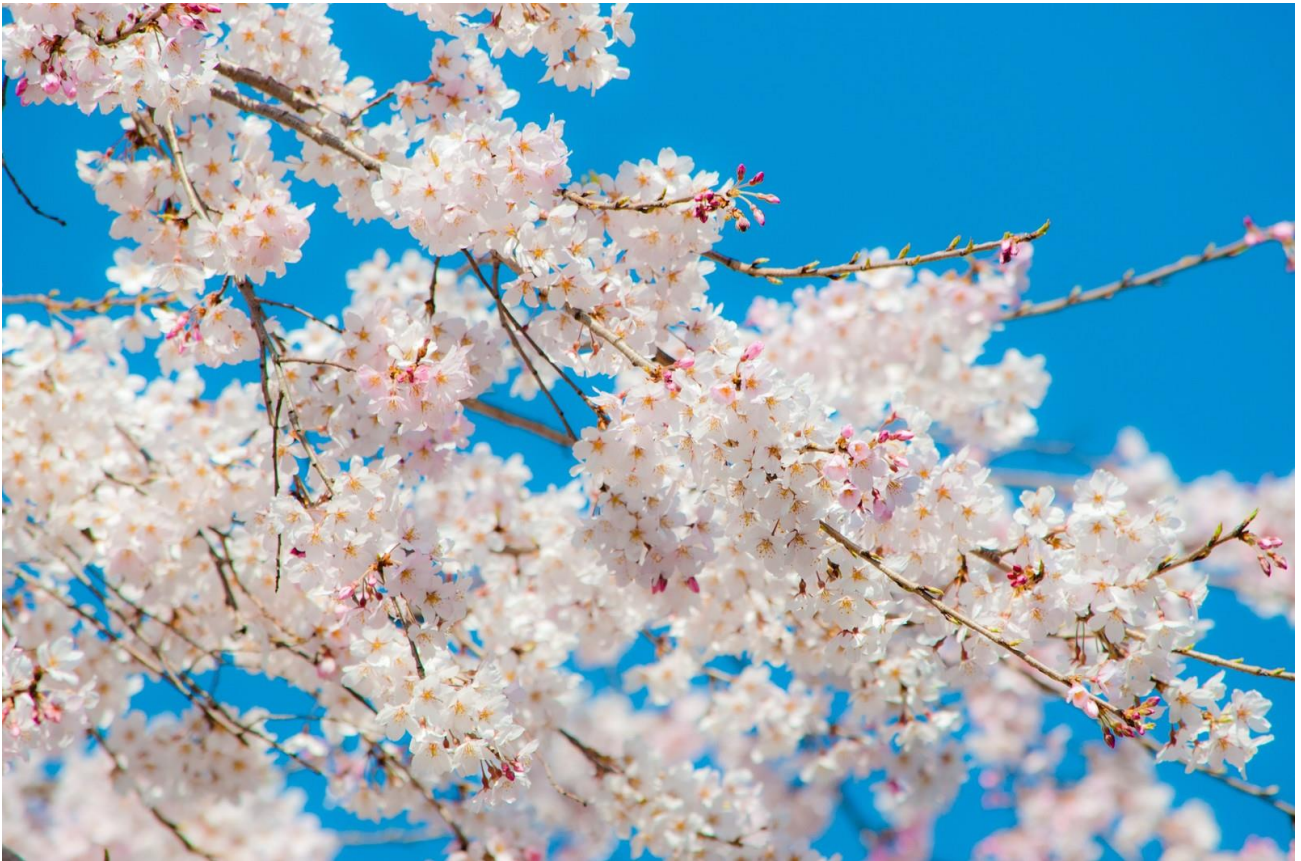




インスピレーションになろう

# ガバナー月信

2019年4月号 Vol.10



## Contents



ロータリーの友情に支えられて	1	新入会員紹介・訃報・今後の予定	11
米山記念奨学生終了式・歓送会報告	2	出席報告	12
ローターアクト第49回地区大会報告	5	コーディネーターニュース	13
新入会員(入会1年～3年)研修セミナー報告	7	ハイライトよねやま	14
元米山記念奨学生の世話クラブ訪問記	9		

## ■ロータリーの友情に支えられて

国際ロータリー第 2560 地区 2018-19 年度  
副ガバナー 新保 清久 (新潟万代 R C)



昨年 6 月中旬のこと、川瀬ガバナーより体調不良をお聞きし、ガバナー年度本番の 7 月以降の公式訪問は難しいと直感的に判断した私は、不測の事態に対応するため、川瀬ガバナー支援特別委員会を設立いたしました。当地区および知り得る限りではこのような事態は未経験であり、日本事務局に問い合わせるも前例がなく明確な規定も存在していない。全ては地区の裁量に委ねるとの回答から、地区運営改善員会委員長の鈴木重孝パストガバナー、当年度より本稼働する地区事務所の立ち上げをサポートする渡辺敏彦パストガバナー、そして実務部隊の丹治芳子地区幹事、関川博地区幹事、伊藤秀夫地区財務委員、金子俊郎地区財務委員をスタッフとして連日、あらゆる角度からリスクマネジメントおよび混乱を最小限に止める方策を思案いたしました。臨時の諮問委員会および会長会議を経て 7 月 9 日の新潟万代ロータリークラブから公式訪問はスタートいたしました。ガバナー補佐によるクラブ訪問とクラブ協議会、ガバナー講話をパストガバナーがそれぞれ分区を担当し IM にてガバナー講話を実施し、その両輪でガバナー公式訪問といたしました。今思うと、2003 年に提唱された DLP (地区リーダーシッププラン) そのままを実施したことになります。

スタート当初は、10 月には復帰される見込みに期待しておりましたが回復が遅れ復帰は延長しましたが、ガバナー輩出ホストクラブの三条ロータリークラブは、立派な地区大会を完遂されたことは、まさに地区の誇りでもあります。公式訪問も恙無く進行したことも当地区のロータリアン全員が「心をひとつに」ロータリアンとして個々が高潔な意識のもと集結している証だと思ふと、ロータリアンの誉れであります。

残念なことは、病状回復に長期間かかることから 2 月 22 日に三条ロータリークラブを辞した川瀬康裕会員であります。同時に川瀬康裕ガバナーは同日をもってガバナーを退任されたことは、同胞として無念の極みであります。

しかし、川瀬康裕ガバナーエレクト時代に提唱された「地区モットーや地区目標」は揺るぐことなく当年度末まで継承いたします。私は、副ガバナーとして今までのとおり年度終了までその代行の任につき、地区運営を維持してまいります。

川瀬康裕年度は、確かに存在した。みなさんの右手に輝く「オレンジリング」が何よりの証ではないでしょうか。認知症予防に尽力尽くされ、ロータリアンとして奉仕の心を職業を通じ実践された川瀬康裕ガバナーの存在は、私たちの心に刻まれていると思います。

その思いを胸に、2018-19 年度終了まで当地区会員全員で心をひとつに、完遂することがロータリー精神であり、ロータリアンの友情の証ではないでしょうか。

## ■米山記念奨学生終了式・歓送会報告

米山記念奨学委員会

副委員長 吉村 鳳一（新潟西RC）

去る2019年3月2日(土)新潟市のホテルイタリア軒に於いて奨学生終了式・歓送会が開催され、奨学生19名、学友会3名、カウンセラー17名（うち代理出席2名）、担当教員4名、地区役員・事務局21名の計65名の参加をいただきました。

新保副ガバナーのご挨拶に続き、大谷ガバナーエレクトのご挨拶ののち、終了されます奨学生お一人お一人に新保副ガバナーより終了証書が授与されました。奨学生を代表して許 龍太（ホ ヨンテ）さん（世話クラブ新潟万代RC）より挨拶をいただきました。

カウンセラーの皆様へ感謝状の授与を、新保副ガバナーよりカウンセラーを代表しまして吉田 和弘さん（新潟 RC）に送られ、ご挨拶をいただきました。のちに、指導教員を代表されまして、事業創造大学院大学教授 唐木 宏一様よりご挨拶をいただき、宇尾野米山記念奨学委員長より、感動的な贈る言葉を頂きました。終了式後、皆で記念写真を撮りました。



歓送会では、石本米山記念奨学会評議員のご発声により盃が開けられました。終了される奨学生の皆様よりお一人ずつ、想いや、思い出などを話していただき、和気藹々とした雰囲気の中、会が進行しました。最後に手に手つないでを合唱して、中締めを孫犁冰（ソングリビン）学友会会長の一本締めで終了しました。



将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍していただき、ロータリー活動の良き理解者となってほしいと切に願います。ご出席いただきました皆様大変ありがとうございました。

米山記念奨学生は、ロータリアンお一人お一人の大切なご寄付によって支えられております。今後とも厚いご支援ご声援をお願い致します。





## ■ローターアクト第49回地区大会報告

青少年奉仕委員会  
ローターアクト委員長  
山田 克史（新発田R C）

さる3月9日（サンキューの日）、快晴の下、上越市の料亭やすねに於いて、国際ロータリー第2560地区ローターアクト第49回地区大会が盛大に開催されました。

当日は、上越市長の村山秀幸様をはじめとするご来賓の皆様、地区内のロータリー会員、ローターアクト会員並びにローターアクトOB・OG、友好地区ローターアクト会員の皆様、合わせて13地区から総勢191名の皆様よりご参加いただきました。



式典では、高田ロータリークラブ会長の牧野章一様、地区大会実行委員長の山宮侑希子（白根RAC）さんの歓迎の挨拶に始まり、ご来賓の皆様よりご祝辞をいただいた後、昨年度の優秀アクター3名並びに優秀アクトクラブ（白根RAC）の表彰が行われました。その後の地区活動報告並びに地区内9クラブの活動報告では、本大会のテーマである「あしあと」に合わせて、各クラブが活動のあしあとをそれぞれのクラブらしい趣向を凝らした内容での報告となりました。

記念講演では、講師に観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」の設計デザイン統括者である建築家の川西康之様をお招きし、ご講演いただきました。デザインとは、デザイナーが一方的に創造するものではなく、市民や使い手の声なき声や要求を代弁し、主観ではなく客観的に具現化することであること、また、ご自身は、未来のユーザーの代弁者であることを原点として日々仕事を続けられているとのことで、その仕事に対する一貫した姿勢に感銘を受けました。



その後行われた祝賀会では、地区R A役員によるフラッシュモブ（ダンス）を皮切りに各友好地区R Aによる趣向を凝らした地区大会の告知や各R A Cによる完成度の高い余興が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

ローターアクトの地区大会は、記念誌の作成から活動報告、メインアクトと呼ばれる祝賀会での余興までを各クラブ毎に企画立案して、当日に向けて準備や練習を重ねて迎える大会であり、その完成度の高さから他地区R Aからも参考とされています。ローターアクトの地区大会に参加されたことのないロータリアンの皆様、是非一度ご参加下さい。普段見ることのできないローターアクトの若者らしい元気な姿を見ることができます。

最後に本大会の準備設営に尽力された全てのローターアクトの皆さんとご参加された全ての皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



## ■新入会員（入会1年～3年）研修セミナー報告

会員増強委員会

委員 米山 光紀（新潟南RC）

2019年3月16日13時30分よりホテルオークラ新潟にて行われました「新入会員（入会1年～3年）研修セミナー報告」について報告いたします。

本セミナーは入会1年～3年の会員、地区内各クラブの会員増強委員長を対象に、地区役員も含め地区内56クラブ中36クラブより113名の出席者で開催いたしました。今回の研修セミナーは、講演とテーブルディスカッションの2部構成で行いました。会員増強は「増」と「強」。今回の事業は「強」の意味合いを持つ事業です。

講師にRID2840地区直前ガバナーの田中久夫様（高崎RC）をお迎えし、入会年数の若いメンバーが新入会員を増やす原動力になることから、「ロータリーを知ろうそして仲間を増やそう ～これこそがクラブ運営の根幹です。～」と題して、高崎RC会長時代に年度当初64人（女性0人）から年度末115人（同7人）に増強した自らの経験を基に、アンケート調査を分析したデータから会員増強・クラブ活性化に対する考察や、多くの講演を行ったことから感じた各クラブの会員増強に対する問題点、さらには具体的な対策とツールも示していただきました。



- ・「若者」は活気を出して動くこと
- ・経験豊かな会員は常識にとらわれずに「バカ者」に
- ・新入会員からは「よそ者」的な感覚があるうちに意見を

そんなまとめが大変印象に残りました。講演で使用したパワーポイントは田中様のご厚意で地区事務所より各クラブへ配信いたしましたので有効にご活用ください。



テーブルディスカッションは参加者多数のためテーブル無しで椅子を並べて車座になったディスカッションとなりました。自己紹介に始まり、クラブ入会の動機、在籍クラブの特徴などを共有する中で、普段なかなか知りえない他クラブの状況などを知り、どんなロータリーライフを送っていくのかを考える機会となったと思います。



セミナー後の懇親会は立食パーティー形式で行い、新入会員・クラブ委員長、地区役員・ガバナー補佐も交えての交流の場となりました。講師の田中様は当日夜に2840地区のPETSでの担いもある強行スケジュールであったため懇親会への参加は叶いませんでしたが、地区内の入会年数が3年未満や増強委員長という共通点をもつ会員同士で交流を図る良い機会となったと思います。

年度末のお忙しい中、地区内各地からご参集いただいたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。



## ■元米山記念奨学生の世話クラブ訪問記

### 「恕」と「和」の心

第 2560 地区米山学友会会長  
孫犁冰（新潟東 RC）

3月14日に、元米山記念奨学生として、私は世話クラブの五泉ロータリークラブを訪れました。皆さまが私を温かく迎え、私の近況報告に耳を傾けてくださったことに厚く御礼を申し上げます。

私は新潟大学の大学院博士課程に在学中、2001-2003年度、二年間、米山記念奨学金を頂き、五泉クラブの皆さまには大変お世話になりました。経済学博士号を取得した後、新潟と上海の間でビジネスをし、2011年4月から新潟青陵大学短期大学部の准教授に就任しました。その後、第2560地区米山学友会理事として、毎年数回の行事に参加させて頂きました。



2013年5月18日に、学友会の会合の席で、「孫さん、ロータリアンになりませんか」というスカウトの声がかかった時、私は「まだ修行の身であり、資格がありませんが」と答えました。すると、真っ赤なバッジを見せられました。そのバッジには、「恕」と「和」という二つの漢字と、背景に「フェニックス」と「火焰土器」が描かれていました。

「恕」とは、「己の欲せざる所は人に施すことなかれ」、孔子がいう「一生守っていかねばならない」一文字。「和」とは、「礼の用、和を以て貴とする」、日中間の緊張が高まっている中、私が最も祈っていた一文字。デザインをした方の強い思いが伝わってくるバッジでした。

その「啓示」を受け、私は2014年3月14日に、新潟東ロータリークラブの新入会員として「受洗式」を迎えました。今、ちょうど5年経ちました。「恕」と「和」。筆では簡単に書けますが、どのようにして「恕」と「和」の足跡を残していけばいいか。これは私に与えられた大きな課題でした。

新潟東 RC の諸先輩方は、私のことを女性会員として、外国人会員として、そして元米山奨学生として、大事に育ててくださいました。受付をする親睦委員、司会をする SAA 委員、プログラム委員長、そして会員増強副委員長など、いろんな役割を与えてくださいました。

2018-2019年の片山年度では、社会奉仕委員長を任されたうえ、クラブの人道奉仕プロジェクト『認知症市民フォーラム：考えよう認知症、他人ごとではない』の実行委員長を拝命しております。

このプロジェクトは昨年3月頃に着想してから、満一年になりました。最初は地区財団から支援を頂き、そして、市内6クラブの共催を頂き、さらに、新潟市の後援を頂く運びになりました。多くの方のご理解とご協力のお蔭で、4月6日に本番を迎えようとしています。実行委員長として、この場を借りて、「恕」と「和」の心を教えてくださる皆さまに、心より感謝を申し上げます。

新潟東ロータリークラブ人道奉仕プロジェクト

# 「考えよう認知症、他人ごとではない」

認知症市民フォーラム

認知症は、2025年には高齢者の5人に1人が発症する恐れがあるとされています。今や企業・家庭など社会的に大きな問題となりつつあります。他人ごとではありません・・・

今回のフォーラムで認知症の現状・予防と対策・治療やリハビリ現場の状況などの理解を深めていただき、将来の不安を少しでも取り除き自立した長寿生活の参考にしていだければ幸いです。

**参加費無料** (定員300名) 要事前申込

2019年 **4/6** 土

13:30～16:00(開場13:00)

**新潟ユニゾンプラザ**

新潟市中央区上2丁目2-2  
TEL.025-281-5511

**第一部** 講演「認知症とは何か、その予防について(50分)」  
講師 成瀬 聡氏 (みどり病院院長 兼 認知症疾患医療センター長)

**第二部** 講演「認知症予防、認知症と共生するまちづくり(50分)」  
講師 児玉 直樹氏 (新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線科教授)

**第三部** パネルディスカッション「認知症にやさしい社会とは」  
コーディネーター 安達 博 (新潟東ロータリークラブ)

終了後質疑応答

認知症と言っても色々な疾患があります。認知症の種類とその特徴について解説し、更には、認知症の予防について、主に医学的側面からお話します。

**成瀬 聡氏**

認知症の正しい理解、認知症予防の取り組みやエビデンスなどを紹介し、人々が相互に信頼し、尊重し、助け合うためのヒントについても紹介します。

**児玉 直樹氏**

新潟県(2560地区)ロータリークラブの今年度(2018-19)運営方針を人道奉仕の重点項目とし「認知症に優しい社会と、認知症予防のできる街づくりを支援する」をテーマに掲げました。健康と社会共生活動を推進する新潟東ロータリークラブは、これを受け市内6ロータリークラブと力を合わせ市民の皆様と共に学ぶ認知症市民フォーラムを企画いたしました。

主催：新潟東ロータリークラブ

共催：新潟ロータリークラブ、新潟南ロータリークラブ、新潟西ロータリークラブ、新潟北ロータリークラブ、新潟中央ロータリークラブ、新潟万代ロータリークラブ

お申し込み・お問い合わせについては、裏面をご覧ください→



## 4月地区の予定 【母子の健康月間】

(RIレート: \$1=¥110)

	地区主要行事	会場
6 (土)	阿賀野川ライン RC 創立 20 周年記念式典	阿賀の里
6 (土)	ロータリー財団地区奨学生選考試験	万代シルバーホテル
8~9 (月~火)	第1・第2・第3ゾーン会員基盤向上セミナー	ホテルオークラ東京
14 (日)	第7分区 I M&高田東 RC50 周年記念式典	デュオ・セレッソ
14~18 (日~木)	規定審議会	米国シカゴ
20 (土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	A N Aクラウンプラザホテル新潟
28 (日)	全国インターアクト・ローターアクト研究会	福岡国際会議場
28 (日)	短期・長期青少年交換学生オリエンテーション	クロスパル新潟

## 5月地区の予定 【青少年奉仕月間】

	地区主要行事	会場
10~11 (金~土)	インターアクト国際交流事業 (ホストクラブ: 新潟中央 RC)	
11 (土)	大谷年度 地区研修・協議会	デュオ・セレッソ他
18 (土)	十日町北 RC 創立 50 周年記念式典	ラポート十日町
21 (火)	青少年交換高校説明会	クロスパル新潟
25~26 (土~日)	ローターアクト地区協議会	新潟市アグリパーク
25~26 (土~日)	第24回日本青少年交換研究会 金沢会議	石川県立音楽堂 A N Aクラウンプラザホテル金沢

## 新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	役職
越後春日山	石塚 賢一郎	2019. 2. 7	(株)ホンダウオーク	代表取締役社長
水原	鈴木 康寛	2019. 2. 13	旦飯野神社	宮司
新潟	宮島 多佳子	2019. 2. 19	(株)宮不動産	代表取締役
新発田城南	大関 正彦	2019. 2. 28	(株)N S C	代表取締役
十日町北	河合 里美	2019. 3. 1	トラストラボ(株)	代表取締役
新潟	小川 潤也	2019. 3. 5	(株)絆コーポレーション	代表取締役社長
三条	滝沢 亮	2019. 3. 6	ひめさゆり法律事務所	弁護士

## 訃報

RC	氏名	ご逝去日	会社名	役職
白根	小飯田 与平	2019.2.16	株式会社小飯田工業	代表取締役

心よりご冥福をお祈りいたします。

## 第2560地区 2018-19年度 2月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	2月末会員数	うち女性	増減
<b>第1分区(9クラブ)</b>		<b>85.54</b>	<b>375</b>	<b>388</b>	<b>37</b>	<b>13</b>
新発田	3	95.41	95	94	0	-1
村上	4	87.90	37	37	9	0
水原	4	81.00	27	29	0	2
中条	4	89.48	36	38	3	2
新発田城南	4	72.25	43	50	4	7
豊栄	4	100.00	24	23	3	-1
新発田中央	4	76.41	49	52	5	3
中条胎内	3	85.96	37	38	7	1
村上岩船	3	81.48	27	27	6	0
<b>第2分区(9クラブ)</b>		<b>79.22</b>	<b>437</b>	<b>445</b>	<b>21</b>	<b>8</b>
新潟	4	85.05	86	92	2	6
新潟東	4	80.98	57	56	6	-1
新潟南	4	77.58	104	104	3	0
佐渡	4	85.20	7	7	0	0
新潟西	4	67.96	39	41	1	2
佐渡南	4	78.18	41	42	5	1
新潟北	3	83.33	40	41	0	1
新潟中央	4	82.29	25	24	0	-1
新潟万代	3	72.45	38	38	4	0
<b>第3分区(6クラブ)</b>		<b>73.57</b>	<b>117</b>	<b>114</b>	<b>4</b>	<b>-3</b>
新津	4	71.25	18	20	0	2
村松	4	81.25	9	8	0	-1
五泉	4	65.91	13	12	1	-1
白根	4	78.03	37	34	1	-3
新津中央	4	71.68	30	30	1	0
阿賀野川ライン	3	73.30	10	10	1	0
<b>第4分区(11クラブ)</b>		<b>73.94</b>	<b>367</b>	<b>376</b>	<b>27</b>	<b>9</b>
三条	4	81.43	56	58	0	2
燕	4	58.61	33	34	2	1
加茂	4	75.14	30	29	5	-1
三条南	3	80.64	48	48	3	0
分水	4	70.49	28	31	3	3
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	3	95.40	28	31	4	3
三条北	4	72.81	64	58	2	-6
巻	4	75.00	20	25	1	5
田上あじさい	4	57.10	7	7	1	0
三条東	4	76.67	33	35	5	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	2月末会員数	うち女性	増減
<b>第5分区(7クラブ)</b>		<b>82.49</b>	<b>316</b>	<b>318</b>	<b>22</b>	<b>2</b>
長岡	4	86.49	45	48	1	3
柏崎	3	80.56	43	43	0	0
長岡東	3	91.76	67	64	4	-3
柏崎東	3	82.97	48	49	4	1
栃尾	4	78.05	22	23	0	1
長岡西	4	78.73	56	55	5	-1
柏崎中央	3	78.88	35	36	8	1
<b>第6分区(6クラブ)</b>		<b>77.17</b>	<b>149</b>	<b>148</b>	<b>10</b>	<b>-1</b>
十日町	4	93.93	33	33	3	0
小千谷	4	59.40	33	34	4	1
雪国魚沼	4	70.60	27	27	2	0
十日町北	3	93.94	22	22	0	0
津南	3	74.32	27	26	1	-1
越後魚沼	4	70.84	7	6	0	-1
<b>第7分区(8クラブ)</b>		<b>81.81</b>	<b>330</b>	<b>333</b>	<b>21</b>	<b>3</b>
高田	3	100.00	65	64	0	-1
直江津	3	71.87	61	67	5	6
新井	4	78.03	30	34	2	4
糸魚川	3	71.68	41	40	3	-1
高田東	2	81.95	37	36	2	-1
糸魚川中央	4	75.74	36	35	0	-1
頸北	3	88.90	15	15	1	0
越後春日山	4	86.29	45	42	8	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,091	人
2月末 会員数	2,122	人
女性会員数	142	人
純増減会員数	31	人
当月平均出席率	79.15	%





## ■「会員増強と会員維持」

ロータリーには、重要な媒体が三つあります。第一は、ロータリアン、第二は、ロータリークラブ、第三が、国際ロータリーです。

この三つの媒体の中で一番大事なものは何か？それはロータリアンです。

ロータリアンが集まってロータリークラブが作られ、ロータリークラブが世界中から集まって国際ロータリーが成り立っているのです。これら三つの媒体の中核にあるのはロータリアンです。

国際ロータリー（Rotary International RI）とは、クラブの連合体であり、奉仕理念の提唱、ロータリーの拡大、情報媒介、連絡調整をその役割としています。ロータリーの奉仕の理念を社会に提唱すること、奉仕理念を社会に提唱していく拠点としてのロータリークラブを地域社会に創って行くことであります。このことが、会員増強に力を入れている本質的な理由なのです。会員が増えてほしいという本来の目的は、奉仕の理念を理解し、追求し、実践してくれる人々が一人でも多く集まって欲しいからなのです。

この中核となるロータリアンが、減少傾向にあることは大変残念なことです。

新しい会員が入会し、それと同じくらいの会員が3年もしないうちに退会し、結局会員数は増えないままです。世界で120万人いる会員は、約20年間増えていないのです。日本では、12万人いた会員が9万人になり、かつては3.5ゾーンあったものが、現在の3ゾーンから、ついに2.5ゾーンになってしまいます。

皆さんのクラブでは、会員が大切にされているでしょうか。一生のお付き合いをしたいと思いがら友と接しておられるでしょうか。半ば無理やり入会させられて、後はほったらかし……。3年も経たないうちに興味をなくし、友情を感じることもなく退会してゆく。

50年も前に、あるガバナーが、会員増強についてこんなことを話されました。「今や原石を磨く時ではないか」、その言葉が忘れられません。仲間を大切にし、一人でも多くの人々の役に立ちたい、地域のニーズに応えるお手伝いをしたい、という善意の人々の集まりであるロータリーの本質を私たち会員が今一度考える時でないでしょうか。この方と出会えてよかったと思えるその仲間を大切にすることから再出発することこそが重要なのでは、と思うのです。

国際ロータリー 理事 三木 明 (姫路RC)

## ■「My ROTARYの登録をお願いします」

「My ROTARY」は国際ロータリーが管理している、インターネット・ウェブサイト上に開設されているロータリーの情報サイトです。登録を行っていただくことによって、ロータリークラブの活動や地区・クラブ運営に必要な情報等を入手できるほか各種資料のダウンロードが可能なる便利なサイトです。同ウェブサイトでも簡単に国際大会の登録やロータリー財団へ寄付も行えますので登録をして活用をお願いいたします。

## ■「My ROTARY登録率に関する1月のレポート」

日本国内各地区の登録状況を見ると4地区が50%以上の登録率で、10～20%の登録率の地区が8地区あります。

全地区の平均登録率は28.66%で昨年同時期の21.65%で約5%上昇しています。

何らかの登録上の不都合で約1.5%がPendingになっていますので合わせると30%を超えますから、今一度、ご自身の登録状況を確認してみてください。

ゾーン別の平均登録状況は

第1ゾーンが27.42%

第2ゾーンが28.18%

第3ゾーンが30.63% になっています。

左の表は平均値以上の登録率の地区一覧です。特に上位の地区はこの1年間に大幅な登録がされているのが目立ちます。

地区	2018/1月	2019/1月
2660	36.27%	57.35%
2770	32.10%	52.97%
2530	45.27%	52.55%
2680	21.54%	51.10%
2750	42.68%	43.76%
2820	39.19%	41.66%
2740	24.34%	41.10%
2620	38.50%	39.80%
2780	25.93%	36.11%
2760	27.19%	33.25%
2550	29.75%	31.48%
2510	23.01%	29.92%
2570	24.30%	29.83%

第1ゾーン ロータリーコーディネーター  
酒井正人 (函館五稜郭RC)



## 「絆 in モンゴル」のご案内

今年7月27日に、ウランバートル市内で「絆 in モンゴル」が開催されます。このイベントは2年に1度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いで、2017年の熊本に続く今回は、モンゴルで開催されます。米山学友、また学友会同士のつながりを強化するだけでなく、支援

するロータリアンもその成果を実感し、学友との絆を深める交流の場となっています。

米山学友・奨学生、ロータリアンの方々は、奮ってご参加ください。航空チケットはお早めに手配されることをおすすめします。皆でモンゴルに集まりましょう！

日時：2019年7月27日(土)・28日(日)

場所：モンゴル国ウランバートル市 The Corporate Hotel and Convention Centre  
(チンギスハーン国際空港から車で約30分)

登録料：ロータリアン：¥15,000、米山学友・奨学生・ご家族：¥7,000 (小学生以下は無料)

締切：2019年4月30日(火)

※問い合わせ先などの詳細は当会HPに掲載されている、モンゴル学友会からの案内(pdf)をご覧ください

[ロータリー米山](#) で検索！ [トップページ](#) > [重要なお知らせ](#) > [絆 in モンゴル/Kizuna in Mongolia](#) のご案内



## 学友会創立10周年！ — 第2620地区 —

3月3日、第2620地区(静岡・山梨)米山学友会の創立10周年記念式典が、米山梅吉記念館(静岡県駿東郡)で開催されました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、午前中に行われた期間終了式に参加した奨学生のほか、学友24人、大学関係者7人、ロータリアン52人など、計107人が参加する盛大な式典となりました。はるばる韓国や岡山県から同地区出身学友が訪れ、第2760地区米山学友会、東京米山学友会、第2530地区米山学友会の各会長もお祝いにつけました。

式典は、スリランカの伝統的なオイルランプ点灯の儀式からスタート。当会の齋藤直美理事長、同地区理事の井上雅雄氏、同地区ガバナーエレクトの安間みち子氏、ラシタ・エリヤーク会長らが、厳かな表情で次々と火を灯しました。過去・現在・未来をテ

ーマに、歴代の地区米山奨学委員長が創設当時の苦労話やこれからの期待を語って、ラシタ会長から歴代委員長へ感謝状が贈呈されたほか、10年間を振り返るスライド上映や、同学友会が推進している「モンゴルの子どもたちに夢の本を贈る」活動などについて、理事のエンボルド・ボロルトヤさんから説明がありました。余興にはスリランカ民族舞踊とモンゴル馬頭琴・ホーミー(喉歌)が披露され、国際色豊かな式典となりました。ラシタ会長は「これからも、皆さまのご支援を米山学友会の力とし、一生懸命に邁進したい」と、語りました。



## 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて0.4%減（普通寄付金:0.4%増、特別寄付金:0.9%減）、約480万円の減少となりました。前年同期比では減少ですが、先月と同様に好調のまま推移しており、2010年度以降、直近9年間の

中で2月単月の寄付額では2番目に高額であり、また、累計額の比較では第3位と、ロータリアン皆様からのご支援の成果が表れております。今年度も残り3カ月半、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

## タイ学友会総会報告 — 創立7年を経て発展中 —

2月9日、タイ米山学友会（会長：ペッチ・ポンポーさん）の総会がバンコク市内のホテルで開催され、学友22人と家族3人、日本やタイのロータリアンら合わせて、計33人が出席しました。



今回も、タイ学友会の設立時からご尽力いただいているビチャイ・ラタクル元RI会長とバンコクRC会員のスペンソン智江美さんが駆けつけて、齋藤直美理事長をはじめ、日本からのゲストを歓迎してくださいました。タイ学友会の現在の会員数は78人。環境保護や子

どもたちへの支援活動に力を入れるほか、昨年から徳島RCのグローバル補助金事業にも協力し、活動の幅を広げています。

ラタクル元RI会長は挨拶の中で、日本人初のRI会長、東ヶ崎

潔氏のテーマ“Participate!（参加し敢行しよう!）”を引用し、タイ学友会のメンバーに向け「もっと日本のロータリアンの方々に関与してもらうこと、巻き込むことが重要。ぜひとも、そのためのチャレンジを続けてほしい」と、激励のアドバイスを送りました。

## マレーシア学友会総会報告 — 初の首都開催 —

クアラルンプール市内にて2月24日、マレーシア米山学友会総会が開催されました。設立総会を含む過去3回の会合はペナンで開催され、首都での開催は今回が初。学友34人のほか、日本から滝澤功治常務理事と澤田尚史第2750地区米山記念奨学委員長ご夫妻が参加しました。

総会では、児童養護施設へ通学バッグ40個を寄贈するなど年間の活動が報告されました。また、投票による役員選挙が行われ、黄麗容会長（2001-04/横浜泉RC）の続投が決定したほか、副会長や幹事、会計、監事と共に、北部（ペナン）、中部（クアラルンプール）、南部（ジョホール）からの理事が2人ずつ選出され、ペナン中心だった学友会がマレーシア全土へ広がる、画期的な体制となりました。黄会長は「正直なところ不安でいっぱい



だったが、クアラルンプールで開催し、予想をはるかに超える成果があった。学友会には、マレーシア国籍以外の在住学友も入会できるので、今後はより一層、国際色豊かで、会員にとって有意義な活動を企画、開催していきたい」と、抱負を語りました。